

△だより

2021 1

No.323

ながぬま



長沼町東6線南16番地付近

新年ご挨拶



代表理事組合長
成田正夫

新年あけましておめでとうございます
組合員皆さまにおかれましては、ご家族お揃
いで輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶

また、日頃より農協事業に対しまして、特段のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年2月のさつぽろ雪まつり以降、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から日常生活、社会経済活動は大きく後退し、感染防止対策として「3密」（密集・密接・密閉）の回避、換気の実施、マスクの着用や手指の消毒など講じることや、不要不急の外出自粛など人の往来や集会が抑制されております。

令和2年の當農実績については、春耕期から少雨好天に恵まれ各作物も順調に生育・収穫がなされたところであります。しかし、8月下旬からの長雨と高温により大豆・ブロッコリーで病気やカビが発生し、収量の減少や品質の低下をみたところであり、期間防除の体制に課題が残る結

集出荷施設においては、国の産地パワーアップ事業の承認をいただき昨年6月に着工し、本年6月からの稼働を計画しております。当産地のブロッコリーは、品質・安定供給の両面で市場や量販店から高い評価をいただいております。この産地評価を落とすことの無いよう農業所得の増大に向けて、生産者と農協が一体となり生産と集荷・販売に努めてまいりますので、より一層の施設利用と農協への結集をお願いいたします。

農協は、「組合員の組織であります」自らが
出資をし、自らが事業を利用することで総合農
協として、組合員個々の経営に寄与するもので
あります。合わせて地域社会に貢献することを
目的とする組織であります。この思いを組合員
皆さまと役員・職員が共有しながら、長沼農業
の価値を高め魅力あるものにするために、関係
機関と連携し事業推進に取組んでまいりますの
で引き続きご指導ご協力の程よろしくお願いい
たします。

結びに、本年が災害のない豊かで実り多き明るい年となりますよう心からご祈念申し上げご挨拶といたします。

謹賀新年

二〇二一年元旦

ながぬま農業協同組合

長理事 内田和幸

理事組合長
成田正夫

務理事 柴田佳夫

務理事 飛谷博秀

員經濟対策長服部正幸

農委員長 小野功

委員長 緑濱文第 川口学志

北洋副委員長

事福島幸二

事 起 跡 昌 隘

石屏文集

謹賀新年

ながぬま農業協同組合

二〇二一年元旦

水稻は、作況指数が「南空知106」（北海道106）で「良」となり、米の館受入計画对比110%で、量・質共に良く、「ゆめぴりか」の基準品米（タンパク7・4以下）が80%となる状況でありましたが、米の需給環境はコロナ禍のなかで、外食・中食の需要減退から大きな持越し在庫が予想されています。

小麦は施設受入計画对比105%となり、秋まき小麦の粗原料反収で10・2俵、製品反収で9・3俵となりました。登熟がゆっくりと進み、組合員の手取りを最大となる調製の結果、形質や成分ともに基準をクリアし製品歩留まりA品で91%となりました。

大豆も施設受入計画对比116%で、5600トンの受け入れをいたしました。播種作業も順調に行われ、生育も進み大いに出来秋を期待いたしましたが、9月以降の長雨・高温により早生系品種を中心にカビが発生し、自主

9月の長雨の影響があつたものの取り扱いは8億円を超え、また、トマトについては、相場も堅調に推移し6億円を超える販売額となりました。

農畜産物全体の販売額については、コロナ禍で大幅な減少が心配されましたが、計画を上回る76億円を見込んでおります。

昨年は、春先の総代会が新型コロナウイルス感染拡大防止から、空知管内の全JAで書面議決での開催となり、議案決議をいただきました。また、JAでも様々な事業や催し物の中止や延期の判断をさせていただきながら経過したところであります。

また、昨年の地区懇談会につきましては組合員の健康面を最大に考慮して取止めさせていたしました。本年度においては感染拡大防止対策を始め、未消化の事業については状況判断のもとしつかりと取組んでまいります。

生産施設事業では、本年3月に完成する蔬菜

検査では品位I(1~2等格)が2割、品位II(3等~特定加工)が8割程度となり、粗原料は確保したもの製品反収は大幅に減収となる見込みです。

令和3年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会

代表理事長 小野寺 俊 幸

新年あけましておめでとうございます。

組合員並びに役職員の皆様には、コロナ禍にあってもその苦境にも負けず、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに對しても、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業は、米の作況指数が106の「良」、畑作物については収穫時期に一部地域に降雨による影響が見られたものの平年並以上の結果となり、生乳も前年の実績を超える生産となり、地域、作目によつて違いはありますがあまり良い出来秋を迎えることが出来たと感じております。

しかしながら、昨年は、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、今までの日常とは大きく変化した1年であります。農業分野において

も例外ではなく各種イベントの自粛、外食・中食の需要減少等の影響により、各作物の更なる需給緩和が懸念されているところです。今後は作物ごとの実態を踏まえた、国産・道産農畜産物の需要喚起・消費拡大を図るとともに、外国人技能実習生が入国できないことにより、農作業の人材確保にも大きな影響が出ておりますので、北海道、全国連とも連携し、JAグループ北海道としてしっかりとその対応を図つてまいります。

J A グループ北海道では、昨年より道民の皆さんに対し北海道農業から行動を起こすことでの農業と人、農村と都市、生産者と消費者の関係のあり方を見つめなおしていただくことを目的として「AGR-I-ACTION! HOKKAIDO（アグリアクション北海道）」と題した情報発信を北海道の支援もいただき、スタートいたします。

結びになりますが、本年は辛丑年です。牛は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢（耐える）」「これから発展する前触れ」というような年になると伝えられています。

この謂われにあやかり、新型コロナウイルスの1日も早い克服と皆様のご健勝、本年が豊穰の年となりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

たしました。

「AGR-I-ACTION! HOKKAIDO」は次の3つのテーマを伝えることを目的としております。

① 食料自給率に対する理解促進と行動変容の喚起

② 農業には多様な働き方があるということの周知とより多くの方が農業に携わっていただき、将来的に農業を仕事の選択肢として考えてもらうこと（本業以外に副業として農業に親しむ人々を「パラレルノーカー」と命名）

③ 日頃から道産農畜産物を食している道民の皆様に感謝を伝えること

新年のご挨拶

空知農業改良普及センター
空知南西部支所

支所長 関崎雅行



新年明けましておめでとうございます。令和3年の新春を皆様がご健勝で迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

また、日頃より農業改良普及センターの活動に対し、ご協力いただきありがとうございます。

昨年は、雪解けが早く、全般的に気温も高く、少雨傾向で推移し、水稻は南空知の作況指数が106となり、収量・品質ともに良く、低蛋白米率も高い年となりました。

小麦も2年連続で多収となり、品質も良く、園芸作物でもブロッコリーが販売額8億円を突破、トマトも6億円に達するなどうれしい話題が多くありました。

経営全体でみても昨年は良い年であり、これも皆様が日々積み重ねてきた努力の結果と、心より敬意を表します。

しかし、一方では8月下旬から9月中旬の降雨で大豆早生品種にかび粒・腐敗粒が多発し、

製品収量が低下、園芸品目でも病気の発生で一部作型の収量・品質が低下するなど課題も残されています。

農業・農村を取り巻く環境は、新型コロナウイルスの感染拡大で労働力の確保が難しい状況になつておらず、消費面でも外食産業の消費が低下し、家庭内の巣ごもり消費が増加するなど大きな変化が見られます。

また、加えてTPPやEPA、日米貿易協定の影響や高病原性鳥インフルエンザの感染拡大なども心配され、今後も営農する上で厳しい状況が続くと思われます。

直し、万全の準備を行い」そして「消費者が求められるニーズに応え、安全で良品質の農畜産物を生産し続ける」ことが大切です。

普及センターも皆様の生産活動を支援するため、関係機関と連携し、各種試験による現地実証や様々な情報提供、また、地域を支える担い手の育成や省力化技術の普及に力を入れて取り組んでいきます。

令和3年は東京オリンピック・パラリンピック開催年です。皆で一緒に楽しみましょう。新型コロナウイルスの感染が一日でも早く収束し、皆様がご健勝で営農を行い、本年も実り豊かな年となりますようにご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

航空自衛隊 北部航空方面隊より
感謝状が贈呈される

12月1日、北部航空方面隊への協力に取組んだとして当農協へ感謝状が贈呈されました。

当農協では、平成27年より子会社で長沼町在住の航空自衛隊定年退職者の雇用を行い、現在6名の社員が勤務しております。このことから、

この度、自衛隊の就職援護基盤の充実や生活基盤の安定確保への貢献に対し感謝状が贈呈されることとなりました。



『営農計画樹立』は 家族ぐるみで！

本年も営農計画を樹立する時期となりました。この時期にじっくりと営農計画に取組み基本方針を立てることが最も重要であり、また、各作物の生産性向上や気象条件などによる危険分散することも考慮し、作付品目などを計画する必要があります。

今年度の営農計画書作成にあたっては前年度の実績を踏まえ、肥料・農薬等の生産資材の効率的利用、コスト低減と経費の節約に努め家族ぐるみで実行可能な計画を樹立し経営の発展に努めていただきたいと思います。

An illustration of a family of four in a garden setting. A man in a white shirt and cap stands on the left, holding a small plant. In the center, a young girl in a pink shirt and shorts is jumping with her arms raised, looking happy. To her right, a woman in a green dress and cap is kneeling, tending to a large basket filled with red flowers or vegetables. In the foreground, a young boy in a green shirt and cap sits at a small table, focused on something in his hands. The background shows a simple garden fence and some foliage.

お問い合わせ 経営相談部 経営相談課
TEL 88-2229



資材部からお知らせ

令和3年度用の「営農資材予約注文書」を12月中旬にお届けしています。
肥料、農薬、温床資材、人工床土、小農機具について、それぞれ新商品や価格情勢を記載
していますのでご検討いただき、予約注文をお願いいたします。

＜主な奨励基準＞

肥料	店頭価格より化成・BB肥料40円、単肥30円、土改剤20円引き 化成・BB肥料のフレコンは500円引き パレット配送もご利用ください（使用後、要返却）
農薬	令和3年度農薬価格は、加重平均では据え置きです 水稻除草剤の直送大型規格はメーカーからの直接配送となります 新規農薬は、パンフレットをご覧ください 予約奨励として5%を割戻します
温床資材 人工床土	資材価格は、前年据え置きです 予約奨励として3%を割戻します
小農機具	農機関係の予約注文品リストは予約価格として3~10%引き ファームランドでは「春期特別価格」を設定しています

※『早期注文』にご協力願います

※ホームページ (<http://www.ja-naganuma.or.jp>) 組合員専用ページからも注文可能です

営農用石油特別価格対策の実施について

燃料センター系統石油事業では、営農コストの低減を図るため、農業用免税軽油と米麦乾燥などの農業用灯油について、特別対策を実施しております。

令和2年度につきましても、取扱実績に対して、次の通り値引き修正をもって、特別価格対策を実施いたしましたのでお知らせいたします。

12月15日付で、各々のクミカンまたは普通貯金に修正経理いたしました。

品名	免税軽油	農業用灯油
対象期間	4月1日～11月30日	7月1日～11月30日
値引修正 (1ℓ当り)	4円	4円



お問い合わせ (株)FAMO長沼 燃料センター TEL 88-2015

相手方への保障

マモルモア

日常生活賠償責任特約

・住宅(※1)の管理上の不備や欠陥によって生じた事故または買物や旅行などの日常生活で生じた事故(※2)により、他人を死亡させたり、負傷させたり、他人の財物に損害を与えたる、あるいは誤って線路に立ち入ったことなどにより、電車などを運行不能にしたため法律上の損害賠償責任を負担するときに共済金をお支払いする保障です。

・記名被共済者1名のご加入により、ご家族(※3)も保障対象となります。

(※1) 被共済者の居住の用に供される住宅用建物をいい、別荘等一時的に居住の用に供される住宅用建物を含みます。
また、住宅には同一敷地内に所在する動産・不動産も含まれます。

(※2) 住宅以外の不動産の所有、使用または管理による事故を除きます。

(※3) 記名被共済者本人、配偶者、同居の親族、別居の未婚の子などが保障対象となります。

日常生活のトラブルを幅広く保障します！

示談交渉サービス付

まさかの事故時、相手方との交渉はJA共済におまかせください！

この特約で共済金の支払い対象となる事故について、被共済者のお申し出があり、かつ相手方の同意が得られれば、JA共済は被共済者のために示談交渉をお引き受けします。

※被共済者の過失がない場合などは、JA共済が示談交渉を行うことができません。

自転車共済(保険)の加入義務化が進んでいます。
ぜひ日常生活賠償責任特約への加入をご検討ください。

都道府県および政令市の状況
宮城県、山形県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、兵庫県、愛媛県、福岡県、鹿児島県、仙台市、さいたま市、相模原市、静岡市、名古屋市、京都市、堺市、岡山市、福岡市

義務化

努力義務化
北海道、茨城県、群馬県、千葉県、富山県、和歌山県、鳥取県、徳島県、高知県、香川県、熊本県、千葉市
(2020年9月30日現在)

出典：自転車活用推進官民連携協議会ホームページ

記名被共済者またはそのご家族が、この特約と同様の保障(※4)に複数加入している場合は、保障が重複することがあります。保障が重複すると、対象となる事故について、どちらの契約でも保障されますが、いずれか一方の契約からは共済金が支払われない場合があります。保障内容の差異や加入金額をご確認いただき、保障の要否をご判断いただいたうえでご契約ください。(※5)

(※4) 自動車共済以外の共済契約でご契約されている保障や、組合以外の保険(共済)契約を含みます。

(※5) これらの保障を1契約にのみ付帯した場合、そのご契約を解約・内容変更したときや、ご家族の状況の変化(同居から別居への変更等)があるときに、保障がなくなり、保障の対象者が変わることがありますのでご注意ください。

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。
また、ご契約の際は、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

お問い合わせは
JAながぬま
金融部共済課 Tel88-2225

加入後の事故は、専用窓口まで
JA共済日常生活事故対応センター
ニチヨウバイショウ は ク ミ アイ
0120-628-931
受付時間 9:00~17:00 ※土日・祝日および12月29日~1月3日を除きます。
(JAの営業時間内でも、こちらの番号までご連絡ください)
20481030312

JA共済ホームページアドレス <https://www.ja-kyosai.or.jp>

JA共済

自動車共済にご加入の皆さまへ

人生は落とし穴だらけ!!

日常生活の思ひぬトラブルで、大きな賠償責任を負うことがあります。手軽な特約で、まさかに備えませんか？

日常生活のトラブルによる賠償責任は思ひぬ高額となることも…

例えば
自転車事故による
賠償額 9,521万円^{※1}
(神戸地方裁判所2013年7月4日判決)

新登場

自動車共済に安心をプラス!!

マモルモア
日常生活賠償責任特約
自転車事故をはじめとする日常生活のさまざまな損害賠償責任を保障します。

2億円
支払限度額
共済掛金1,890円(共済期間1年、一時払の場合)
くわしい保障内容は裏面をご覧ください

安心の示談交渉サービス付

理事会報告－第12回－

《令和2年12月18日開催》

[議案]

- 第1号 第3四半期自治監査講評
- 第2号 組合と理事との契約承認について
- 第3号 育児および介護休業規程の一部変更について
- 第4号 金利設定会議・設置要領の一部変更について
- 第5号 令和3年度内部監査計画の策定について
- 第6号 令和3年度営農計画に係る農産物価格の設定について
- 第7号 総代の改選について
- 第8号 事業推進員会議の開催について
- 第9号 令和2年度決算見込みについて(11月末現在)
- 第10号 年末賞与の支給について

[報告事項]

1. 会議・行事報告について
2. 不祥事再発防止対策の取組みについて
3. 経営定期点検実施報告(10月分)について
4. 内部監査報告(株式会社FAMO長沼(燃料センター部門・Aコープ部門))について
5. 令和2年産大豆の調製状況について
6. その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。

今月の組合員数

組合員 1,594名
正組合員(826名)
准組合員(768名)
正組合員戸数 674戸

農協の動き 11/24～12/18

11月

- 24～27日 農業用廃プラスチック回収 於 麦バラ施設
- 25～27・30日 第3四半期自治監査 於 農 協
- 26日 粮バラ施設運営協議会 於 農 協
- 26日 事業推進員会議 於 農 協
- 30日 常勤理事と監事の意見交換会 於 農 協

12月

- 1日 高収益作物次期作支援交付金要綱変更に伴う説明会 於 農 協
- 1日 北部航空方面隊司令官感謝状伝達行事 於 千歳市
- 3日 役員推薦会議 於 農 協
- 14日 ホクレン農産全道共計運営委員会 於 空知農業会館
- 14日 北海道農協畑作・青果対策本部委員会 於 空知農業会館
- 16～17日 高収益作物次期作支援交付金見直し追加措置申請受付 於 農 協
- 18日 監事会 於 農 協
- 18日 総務・経済対策委員会 於 農 協
- 18日 理事会 於 農 協

食と農 ひらく未来へ 確かな目

食農のページがもっと楽しく
食農教育の知識がいっぱいいつまっています。



購読のお申し込みはJAへ

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞

初売り

2021
1月4日

A-COOP
Aコープ
ながぬま店



JAだより
ながぬま
2021.1月号 No.323

〒069-1393 夕張郡長沼町銀座北1丁目5番19号
発行／ながぬま農業協同組合 営農部営農企画課
TEL／0123-88-2232 FAX／0123-88-4113
URL／<http://www.ja-naganuma.or.jp>